

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

A 発掘された映画たち2009

Cinema: Lost and Found 2009

2009年4月21日(火) - 5月3日(日)祝

B 日本映画史横断④ 怪獣・SF映画特集 Part 2

Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 4]
Monster and Science Fiction Film II

2009年5月5日(火)祝 - 5月28日(木)

5月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



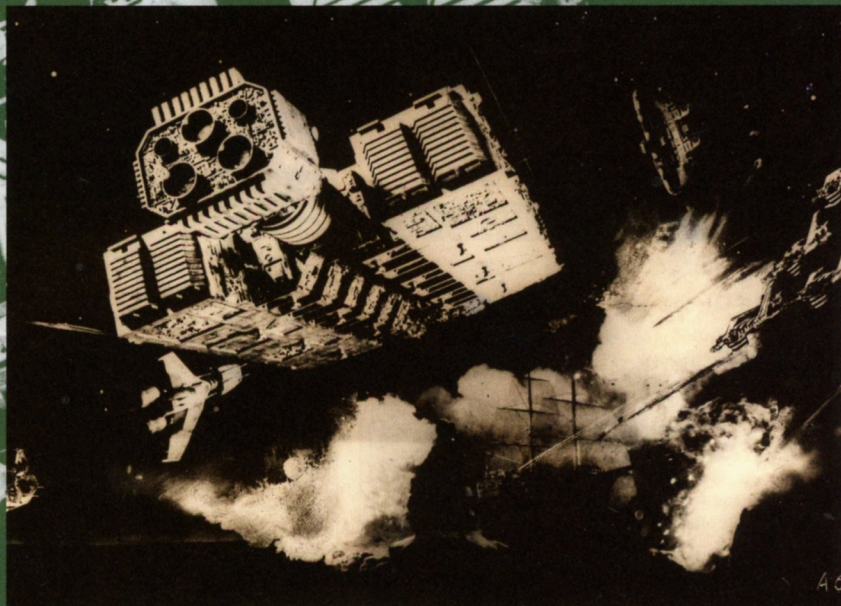
東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
 The National Museum of Modern Art, Tokyo

発掘された映画たち2009



日本映画史横断④

怪獣・SF映画特集 Part 2



2009

5

NFCカレンダー
2009年5月号

大ホール 上映作品 A

発掘された映画たち2009 Cinema: Lost and Found 2009

近年新たに発掘・復元したフィルムをまとめて上映する「発掘された映画たち」は、1991年から数えて第7回目を迎えました。今回は、最新のデジタル技術で復元された3作品——『羅生門』(1950年)、『槍供養』(1927年)、『繪日傘 第二話 狸大盡』(1930年)——のほか、全米日系人博物館から寄贈されたフィルムの復元第2弾や、占領期に製作された「CIE映画」の選集第2弾など、1899年の『紅葉狩』から1954年の『ママの新婚旅行』までの55年間に渡る計44作品を、12のプログラムに構成して上映します。本企画が、芸術的・歴史資料的に高い価値を有する文化遺産としての映画を再検証する場となれば幸いです。

- 監=監督 脚=脚本・作 撮=撮影 美=美術・装置 音=音楽 出=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 各プログラム中の上映順序は変更になる場合があります。

『紅葉狩』重要文化財指定へ

文化審議会が3月19日、フィルムセンター所蔵の『紅葉狩』(35mm可燃性デュブネガ・フィルム、342フィート13コマ)を重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申しました。映画が日本に紹介されてから百十余年、初めての重要文化財指定となります。これにより、名実ともに映画フィルムが文化財として保護される道が拓かれることになりました。

※『紅葉狩』は4/24(金)7:00 pm、5/3(日・祝)4:00 pmの回で上映されます。

A-1 4/21(火)7:00pm 4/29(水)4:00pm

羅生門 [デジタル復元版] (88分・35mm・白黒)
ヴェネツィア国際映画祭で金獅子賞を受賞して日本映画の芸術性を世界に知らしめた黒澤明の代表作が、大映の権利を継承した角川映画とアメリカのアカデミー・フィルム・アーカイブの共同作業によってデジタル復元された。フィルムセンターは元素材の提供と技術的なアドバイスをを行うことで本復元プロジェクトに協力した(復元の詳細は『NFCニューズレター』82号を参照)。

50(大映京都) 51(黒澤明) 52(橋本忍) 53(芥川龍之介) 54(宮川一夫) 55(松山崇) 56(早坂文雄) 57(三船敏郎) 58(森雅之) 59(マチ子) 60(志村喬) 61(千秋実) 62(上田吉二郎) 63(加東大介) 64(本間文子)

A-2 4/25(土)1:00pm 5/1(金)7:00pm

マキノ映画とマキノ眞三 (計98分)
ゴムまり (15分・35mm・白黒)
「日本映画の父」牧野省三の三男・マキノ眞三が、妻の宮城千賀子をスターにして1946年に設立したマキノ芸能社(後にマキノ映画社)の作品2本を上映する。本作はその第1回作品で、狭い街路で遊ぶ子供たちが交通事故にあう危険性を啓発し、大人たちの責任感を喚起する教育映画。劣化した16mmプリントから復元。

47(マキノ映画社) 48(荒井良平) 49(河童太郎) 50(竹村康和) 51(高橋半) 52(宮城千賀子) 53(澤村マサヒコ) 54(津川雅彦) 55(澤村セツコ) 56(澤村アキオ) 57(長門裕之) 58(峯山花代) 59(東屋鈴子) 60(美鈴玲子)

暗黒街の天使 (83分・35mm・白黒)
ウィスキー工場の不正事件を背景に、悪の道に足を踏み込もうとする少年たちと、戦後の日本で活躍しはじめた婦人警官との交流が描かれる。長門裕之(澤村アキオ)の初々しい演技やロケ地の京都の街並みも見所のひとつ。寄贈された可燃性オリジナルネガから復元した。(素材提供:牧野登喜子氏)

48(マキノ映画) 49(マキノ眞三) 50(八尋不二) 51(松井鴻) 52(松村清次) 53(高橋半) 54(宮城千賀子) 55(浦松葉枝) 56(山辺志賀子) 57(杉義一) 58(大伴千春) 59(荒木忍) 60(澤村アキオ) 61(マキノ省一) 62(原健作) 63(加賀邦男) 64(藤間林太郎) 65(東屋鈴子)

A-3 4/25(土)4:00pm 4/30(木)7:00pm

ママの新婚旅行 (94分・35mm・白黒)
山田五十鈴と山村聰が主演する戦後作品ながら、これまでフィルムの存在が確認されていなかった新東宝配給作品で、寄贈された16mmプリントから復元した。貧しいながらも、頑固な父と3人の子どもたちをたくましく支える母親の愛情を描いたホーム・ドラマ。(素材提供:中村京子氏、白坂公子氏)

※劣化した唯一のプリントから復元したため、映像が大きくゆれる箇所が多数あります。

54(永和プロ) 55(佐藤武) 56(植草圭之助) 57(古川良範) 58(古泉勝男) 59(小川一男) 60(斎藤一郎) 61(山田五十鈴) 62(山村聰) 63(和田孝) 64(藤原釜足) 65(進藤英太郎) 66(澤村貞子) 67(長谷川裕見子)

A-4 4/21(火)3:00pm 5/2(土)1:00pm

CIE映画選集1 (計91分)
CIE映画(別名・ナトコ映画)は、GHQの民間情報教育部(CIE)が日本人教育を目的に製作した教育映画。桐生市図書館旧蔵の35mmプリントが88本(85作品)寄贈されたことを受け、前回の「発掘された映画たち2008」では11本を復元して紹介したが、今回は日本国内で製作されたと思われる作品を中心に、新たに16本を映写可能なフィルムに複製し、ノイズリダクションを行い復元した(以下の作品解説は『USIS映画目録1953』[米国大使館映画部]より)。

働くもの>苦情処理(安全燈) (30分・35mm・白黒) *Workers' Grievance Procedure*
労資間の紛争を労働協約によって解決する段階を示した国内製作映画。

50(日本映画社) 51(衣笠十四三) 52(加納龍一) 53(新庄宗俊) 54(稲垣浩邦) 55(武田俊一)

働くもの>権利 (20分・35mm・白黒) *Rights of the Worker*
勤労者の権利が法律によってどのように守られているか?日本の労働基準局が勤労者の利益のためにどんな仕事をしているか?その解説です。

50(東宝[日本版製作]) 51(西澤豪) 52(西尾善行) 53(村上喜久男) 54(齊藤一郎) 55(千葉一郎) 56(木下ゆづり) 57(河村弘二) 58(島田敬一) 59(津田光男) 60(米倉勇) 61(西康一) 62(藤岡廣一)

値段と品物 (21分・35mm・白黒) *Price and Quality*
工場経営と作業の能率化によって、どれだけ価格を下げ、品質をあげることができるかを示した映画。特に「工場内の教育」(実務指導)の効果が力説されています。

51(電通映画社[日本版製作])

一步前進 (20分・35mm・白黒) *Step Forward*
日本のあるサラリーマンが失業して、職業安定所を訪ねます。そして失業保険をうけている間に職業補導所に入って、新しく自動車工としての指導をうけます。かくて、彼は新しい生活への一歩をふみ出すのです。

52(中井プロダクション[日本版製作])

A-5 4/22(水)3:00pm 4/28(火)7:00pm

CIE映画選集2 (計102分)
公民館 (32分・35mm・白黒) *Citizen's Public Hall*
カメラは大津公民館、福島県の田舎町にある公民館、飛騨の山奥の公民館、瀬戸内海の離れ小島の公民館…等、日本全国各地の公民館を次々に訪ねます。これらの公民館は、いずれもその町の人たちの集会場であり、レクリエーションや教育の中心として活動しているのです。

50(日本映画社[日本版製作])

わが街の出来事 (14分・35mm・白黒) *It Happened in Our Town*
世論と近所の人たちの努力で、日本のある町で起った衛生上の問題を解決する話です。

50(シュウタグチプロ) 51(加藤藤一) 52(岡崎宏三) 53(前田驥) 54(三神茂)

農村の生活改善 (18分・35mm・白黒) *Better Rural Homes*
若い世代の日本の農村青年たちが、どのようにしてその生活環境の向上を図っているかを描いています。生活環境や衣服を科学的で実際のなやり方で改善し、その結果、生活がいかに向上したかを示します。

51(理研映画[日本版製作])

保健婦の手紙 (18分・35mm・白黒) *Public Health Nurse*
都会の保健婦と田舎の保健婦が、手紙でお互いの仕事について話しあいます。

51(プレマ映画[日本版製作])

ある村の歩み (20分・35mm・白黒) *Changing Village*
日本のある村で起った様々な変化—農地改革法を実施するために色んな委員会を設けたり、民主的な農協組合を作ったり、公民館の建設や農業改良普及員の仕事などを、一人称で物語って行きます。

52(日本映画社[日本版製作])

A-6 4/22(水)7:00pm 4/30(木)3:00pm

CIE映画選集3 (計113分)
スクエア・ダンスを踊ろう (14分・35mm・白黒) *Let's Square Dance*
スクエアダンス入門。一組の上手な踊り手が、基本動作を実演しています。[上映プリントはクレジットに「改訂版」の記載あり。]

50(東京映研) 51(丹生正) 52(水木荘也) 53(日向清光) 54(竹内光雄)

國を支える三つの柱 (14分・35mm・白黒) *The Three Pillars of Government*
立法・行政・司法三権分立の面から、日本の政治の民主性が解説されています。

50(東亜発声映画[日本版製作]) 51(浅野辰雄) 52(藤井静) 53(浅井達三) 54(和田多吉)

高崎での話 (20分・35mm・白黒) *Takasaki Story*
日本の地方新聞創刊とその経営物語。町の世論が、ついに新聞発行を促すにいたったいきさつが描かれています。

51(RKOバテ会社)

第二集 友情の篝火 (10分・35mm・白黒) *Torch of Friendship*
日本の野尻湖畔で挙行されたYMCA国際年長少年キャンプの記録映画。これは友情と国際親善の二週間でした。

51(シュウ・タグチプロダクション)

ユネスコと私たち (20分・35mm・白黒) *UNESCO and Japan*
日本とユネスコの関係を示す映画。日本のユネスコ協力会、学生ユネスコ会、ユネスコこども博覧会、ユネスコ村などの活動も見られます。

52(理研映画[日本版製作])

国際連合の意義 (19分・35mm・白黒) *The Meaning of the United Nations*
日本のアメリカ交換学生が、ニューヨーク市の国連本部を訪問します。この学生が、国連とその各機関の意義や、遠く離れた日本の僻村で生活している彼の両親の生活に、それがどんなに深い関係をもっているかを、手紙で両親宛、書き送るのです。

52(ニッカーボッカー・プロダクションズ)

アメリカの印象 第二集 (16分・35mm・白黒) *Impressions of America No. 2*
日本の洋裁家がアメリカで催された国際ファッション・ショウを訪れたときの話と、訪米日本僧の見た青少年施設の紹介、そして、もう一人の僧がアメリカの宗教事情について語るところで終わります。

52(ファースト映画社[日本版製作]) 53(田中千代) 54(杉原方) 55(眞溪義貴)

A-7 4/23(木)3:00pm 5/2(土)4:00pm

バン・コレクション1 (計95分)
2007年にロサンゼルス全米日系人博物館から寄贈された伴武氏旧蔵のフィルムのうち、前回の「発掘された映画たち2008」では6本の劇映画を復元・上映したが、今回は新たに6本を上映する。

スクリュー・アトラクション 愛染二重奏 オシドリヒートン歌集 (19分・35mm・白黒)
メロドラマの大ヒット作『愛染かつら』(1938年、野村浩将監督)の主題歌を歌った霧島昇と松原操(ミス・コロムビア)を中心に、当時の歌謡曲が紹介される音楽映画。

40(朝日映画) 41(仁木他喜雄) 42(マーガレット・スタース) 43(霧島昇) 44(松原操) 45(コロンビアオーケストラ)

歌のアルバム 第五輯(9分・35mm・白黒)

当時のヒット曲を集めた短篇シリーズ第5作。前半は竹山逸郎と吉岡妙子が「銀座の雨」(作詞:佐伯孝夫,作曲:清水保雄)を、後半は羽山和男と喜久丸が「秦野煙草音頭」(作詞:小島喜一,作曲:中山晋平)を歌う。'46(日本映画社)◎清水保雄◎竹山逸郎,吉岡妙子,羽山和男,喜久丸

罪はいづこに

(23分・24fps・35mm・無声・白黒・不完全)

母親が船上から赤児を投げ落とす…。産みの母が、他家に引き取られた愛娘の前に家庭教師として現われるという母性愛映画。前半の部分のみが現存している。

'34(大都)◎吉村操◎山本三八◎岩藤隆光◎佐久間妙子,南部章三,橋喜久子,三島慶子,松村光夫

母校の花形(44分・35mm・白黒・不完全)

大学ラグビー部で万年補欠の青年(杉)が、人情と機転でチームを勝利に導く青春映画。戦後の「大番」シリーズ(1957-1958)の監督としても知られる千葉泰樹は、1930年代中期に日活多摩川撮影所で杉狂児主演の現代喜劇や人情ものを数多く監督していた。

'37(日活多摩川)◎千葉泰樹◎小國英雄,山崎謙太◎サウ・ハチロー◎長井信一◎榊原茂樹◎古賀政男◎杉狂児,笠原恒彦,星玲子,吉谷久雄,河野憲治,米倉勇,星ひかる

A-8 4/23(木)7:00pm 5/3(日)1:00pm

バン・コレクション2(計110分)

赤尾の林蔵

(43分・20fps・35mm・無声・白黒・不完全)

大都映画のスターのひとり杉山昌三九の主演映画。やぐざ稼業から足を洗って10年ぶりに帰郷した親分が、放蕩息子の危機を救うために敵陣に乗り込む…。白井戦太郎は大都映画で大量の娯楽時代劇を生み出した監督だったが、広島に投下された原爆で亡くなった。

'37(大都)◎白井戦太郎◎内海義人◎岩藤隆光◎小野田直吉◎杉山昌三九,佐久間妙子,遠山竜之介,久松玉城,阪東正二郎

杉狂の催眠術(67分・35mm・白黒)

歌手の「サイトウ・ハチロー」(杉)と親友二人(松本,井上)が、催眠術師に落ちぶれてしまった中学時代の恩師(山本)とその娘(村田)の窮状を救おうと奮闘する人情喜劇。

'38(日活多摩川)◎千葉泰樹◎吉田二三夫◎サウ・ハチロー◎長井信一◎榊原茂樹◎古賀政男◎杉狂児,松本秀太郎,井上敏正,山本禮三郎,村田知栄子,河野憲治

A-9 4/24(金)3:00pm 4/29(水)1:00pm

新大都映画(計79分)

剣劇女優とストリッパー(26分・35mm・白黒)

1953年頃に際作作品をわずかに残して瞬間に映画史から消えていった新大都映画の作品を2本紹介する。戦前に次ぐブームを迎えつつあった女剣劇を題材に、剣劇女優を主人公にした劇仕立ての作品。映倫のフィルム審査でストリップ場面の部分的な削除が要請されている。ナレーションは元弁士の加藤柳美。(素材提供:プラネット映画資料図書館)

'53(新大都映画)◎平澤謙二◎富澤恒夫◎古川健一◎志村道三◎大都あけみ,奥山紗代,三島百合子,空飛小助,キャロル

アナタハン島の真相はこれだ!!

(53分・35mm・白黒)

戦争末期,マリアナ諸島のアナタハン島に漂着した日本人男性たちは、島に住んでいた唯一の日本人女性へ欲望のままざしを向け、悲劇へと発展する…。実話を映画化したもので、当事者である比嘉和子本人が主演するという異色作。(素材提供:プラネット映画資料図書館)

'53(新大都映画)◎吉田とし子◎亀谷明正◎大溝一彦◎加藤光雄◎比嘉和子,高野真,小泉都之介,諏訪孝介,加藤勇,佐伯徹,熊木浩介,里木三郎,大塚周夫

A-10 4/24(金)7:00pm 5/3(日)4:00pm

戦前・戦中文化記録映画の復元

(計56分)

紅葉狩(計10分・16fps・35mm・白黒)

日本人が撮影した現存する最古の映像で、九代目市川團十郎や五代目尾上菊五郎の舞う姿が記録された歴史的映像でもある。1899年11月の歌舞伎「紅葉狩」の上演後に、歌舞伎座裏の芝居茶屋の前に舞台を組んで撮影されたという。団十郎が更科姫と鬼女を、尾上丑之助が風の神を、菊五郎が維茂を演じている。日活株式会社から寄贈された版(6分),続いて大谷信義氏より寄贈された版(4分)を上映する。(素材提供:日活株式会社,大谷信義氏)

1899◎柴田常吉◎九代目市川團十郎,五代目尾上菊五郎,二代目尾上丑之助

電話のかけ方【仮題】

(9分・24fps・35mm・無声・染色・不完全)

日本において、電話が交換手を介さない自動式に変化したのは1920年代後半だが、その自動交換式電話の使い方を解説したアニメーション映画。画の特徴が木村白山のものに類似しているが、タイトルやクレジット等が欠落しているために確認はない。(安部善重コレクション)

1920年代後半頃?

警察犬(12分・35mm・白黒)

軍用犬の訓育と犯罪捜査における活躍を紹介した文化映画。(素材提供:プラネット映画資料図書館)

'41(興亜建立文化映画)◎◎持田米彦

海のますらを(25分・35mm・白黒)

「海国日本」を背負って立つ東京高等商船学校(現・東京海洋大学)の若き生徒たちの修業・訓練の様子を記録した文化映画。可燃性プリントから復元した。(素材提供:東京海洋大学海洋工学部資料館)

'41(松竹文化映画製作所)◎◎田中忠夫◎今村秀夫◎細田義勝

A-11 4/26(日)1:00pm 4/28(火)3:00pm

戦前・戦中劇映画の復元(計68分)

怪談 皿屋敷【仮題】

(11分・16fps・35mm・無声・染色・断片)

おそらく日本映画のなかで現存する最古の「皿屋敷もの」。断片ゆえに作品名の特定には至っていないが、撮影・編集のスタイルから関東大震災以前の作品と推測できる。井戸からお菊の幽霊が出てくるショットでは二重露光が使われ、その他にもコマ撮り撮影や逆回転撮影も活用されている。(素材提供:プラネット映画資料図書館)

'23年以前

播州皿屋敷(8分・18fps・35mm・無声・白黒)

こちらも「皿屋敷もの」の短篇で、侍女のお菊(筑波)が、家宝のお皿の枚数が足りないとして家主の青山鉄山に惨殺されるが、お菊の夫・三平(片岡)が恨みを晴らす。青山の弟・忠太役の清水林之輔は女優・花井蘭子の父。(安部善重コレクション)

'28頃(賀古プロ)◎◎賀古残夢◎田中十三◎松井莊輔,清水林之輔,片岡紅三郎,筑紫かず子,市川市昇

槍供養【パテベビー版・デジタル復元版】

(17分・16fps・35mm・無声・白黒)

槍持ちの家来が、誤って主君ではない別の武士に大切な槍を渡してしまう。その武士は槍持ちの首と引替えならば槍を返そうと条件を出す…。大河内傳次郎の演技が光るダイジェスト版で、京都文化博物館が2006年に9.5mmフィルムからデジタル復元したものを上映。(素材提供:京都文化博物館)

'27(日活大業)◎注吉郎◎小杉文雄◎井準英一◎久米謙,大河内傳次郎,尾上桃華,葛木香一

繪日傘 第二話 狸大盡

【パテベビー版・デジタル復元版】

(8分・16fps・35mm・無声・白黒)

当時のヒット曲に材を取った小唄映画で、全3篇が製作された「繪日傘」シリーズの第2話で、9.5mmのダイジェスト版から、京都文化博物館が2005年にデジタル復元した。祇園の太夫には想いを寄せていた若侍がいたが、好色な男に執拗に口説かれる…。(素材提供:京都文化博物館)

'30(マキノ御室)◎金森万象◎東艸之介◎長田幹彦◎松浦茂◎浅間昇子,澤村国太郎,小井井勝

君と僕(24分・35mm・白黒・部分)

戦時下における朝鮮民族の志願兵をテーマにした劇映画。失われた作品と見なされていたが、全体の2割程度が16mmプリントとして発見された。青年兵たちの行進や訓練の合間のどかな休息場面、そして白馬江を舟で下りながら登場人物が歌を歌う場面などが残っている。わずかに李香蘭(山口淑子)も出演している。

'41(朝鮮軍報道部)◎◎日夏夏太郎◎飯島正◎森尾鉄郎◎◎佐藤長助◎小杉勇,三宅邦子,永田経次郎,朝霧鏡子,金葉英,李香蘭

A-12 4/26(日)4:00pm 5/1(金)3:00pm

南湖院コレクション(計92分)

医師でキリスト教徒であった高田研安が、1899年に神奈川県・茅ヶ崎に設立した結核療養所・南湖院。太平洋戦争末期に軍に接収されるまで、多くの文人が入院したことで知られる本院では、毎週土曜日に映画会が催され、地域住民との交流の場になっていたという。昨年、研安の直孫・高田準三氏より寄贈された、南湖院の祭事を記録した映画など60本余りの可燃性フィルムのなかから、復元した成果を紹介する。

社会教育映画 我等の運命

(12分・16fps・35mm・無声・染色)

飲酒が家計や国家財政を圧迫している事実を、さまざまな数字を挙げて暴き出すとともに、身体に及ぼす致命的な害毒を、アニメーションを交えて説く禁酒奨励映画。大正年間に禁酒運動家として活躍した成瀬才吉の原案を基に、大阪市西成に拠点を置いていた藤谷教育映画が製作・撮影を行った。

'20年代前半(藤谷プロダクション)◎成瀬才吉

栄光の日は来る

(23分・15fps・35mm・無声・白黒)

玉突屋の看板娘・君子の一家を突如襲った結核の病魔に、青年篤志家の救いの手が…。疫学の先駆者として結核予防に貢献した佐藤正の原作を、当時内務省衛生局の外郭団体だった日本結核予防協会が映画化した。

'31(日本キネマ)◎◎原田武造◎佐藤正

第三十回醫王祭 十二月二十五日

(15分・15fps・35mm・無声・一部染色)

高田研安は、イエスと神武天皇を同一視する独自の世界観のもと、イエスを「醫王」と見なし、毎年12月25日には患者家族や地域住民を招いて、盛大な祭りを催していた。本作は1930年に行われた祭事の記録で、冒頭茅ヶ崎の海岸に面した南湖院の広大な敷地から見晴らす富士の姿が美しい。

'30

大震災以前 帝都の壮観

(12分・16fps・35mm・無声・一部染色)

万世橋駅前、銀座・日本橋界隈、三社祭など、震災前の各所の賑わいを映像に留めた東京案内。八千代生命保険による企画もので、浅草六区の小屋に立つ幟から、撮影は震災から遠くない時期に行われたものと思われる。

'25(東キネマ)

長への御幸をまつ 彦摩御陵道

(5分・16fps・35mm・無声・白黒)

多摩御陵(現・武蔵野御陵)は、1927年に建設された大正天皇陵。当時の道路敷設に係る労働の様子が、事細かに記録されている。東京府が検閲申請し、同年2月21日に通過した『多摩御陵参道工事実況』と同一作品かもしれない。

'27

大禮記念 国産振興東京博覧会

(13分・16fps・35mm・無声・白黒)

東京商工会議所主催により、1928年3月24日から5月22日まで、上野公園にて開催された博覧会の記録。開会式、閑院宮の各館巡覧から始まり、見世物小屋と化した巨大なパビリオンが次々と紹介される。

'28(東京映画社)

輝やく大東京(12分・16fps・35mm・無声・染色)

1930年3月24日に行われた昭和天皇による復興帝都巡幸の記録。撮影としてクレジットされている大日本教育映画協会は、「帝都復興」の製作にも名を連ね、「帝都復興」「御巡幸編」,「天皇陛下復興帝都御巡幸」とも同じカットが多数使われているが、映画利用に積極的だったという昭和天皇の若き姿を、間近に見ることができる。

'30(東京市教育局社会教育課)◎大日本教育映画協会

**大ホール
上映作品
B**

日本映画史横断④
怪獣・SF映画特集 Part 2
Cross-section of Japan's
Cinematic Past [Part 4]
Monster and Science Fiction
Film II

1月の「怪獣・SF映画特集」に続く企画では、「ゴジラ」シリーズの製作が再び活発化する第2次ブームの時代を中心に、1968年に公開された異色の怪奇SF映画『吸血鬼ゴケミドロ』から1978年の超大作『宇宙からのメッセージ』まで計21本の作品を上映します。スタッフの世代交代や空前のSF小説ブーム、世界的なパニック・SF映画のブームを背景にさらなる変化を遂げつつあった日本の特撮映画の歩みをたどります。

■監=監督 ◎=原作・原案 ○=脚本 ●=撮影 美=美術 音=音楽 出=出演
■スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。

B-1 5/5(火)祝1:00pm 5/27(水)7:00pm
吸血鬼ゴケミドロ(84分・35mm・カラー)
人に寄生して吸血鬼に変貌させるアメーバ状の生命体ゴケミドロが地球侵略を始める。人類の絶滅の恐怖を描いた異色のSF映画。真っ赤な空を旅客機が進むオープニング・シーンはクエンティン・タランティーノの『キル・ビル』にも引用されている。
'68(松竹)◎佐藤肇◎高久進、小林久三◎平瀬静雄◎芳野尹孝◎菊池俊輔◎吉田輝雄、佐藤友美、高英男、高橋美也、金子信雄、北村英三、楠侑子、加藤和夫

B-2 5/5(火)祝4:00pm 5/22(金)3:00pm
昆虫大戦争(84分・35mm・カラー)
某国の細菌科学者の研究で増殖した毒虫が意志をもって人間たちに襲いかかる。動物パニックにベトナム戦争や水爆、細菌兵器などの脅威を絡めた怪奇SF映画。監督は『宇宙大怪獣ゴジラ』の二本松嘉瑞。
'68(松竹)◎二本松嘉瑞◎天田欽元◎高久進◎平瀬静雄◎芳野尹孝◎菊池俊輔◎園井啓介、川津祐介、新藤恵美、藤原健一、園江梨子、キャシー・ホーラン、チコ・ローランド、ロルフ・ジェッサー

B-3 5/6(水)祝1:00pm 5/28(木)3:00pm
ガンマー第3号 宇宙大作戦
(77分・35mm・カラー)
宇宙船に付着した緑色の物体が電気エネルギーを吸って成長し、宇宙ステーション「ガンマー第3号」を占拠する。『海底大戦争』に続き東映とラム・フィルム(米)の提携で製作された合作映画。
'68(東映=ラム・フィルム)◎深作欣二◎トム・ロー、金子武郎◎山沢義一◎江野慎一◎津島利章◎ロバート・ホ顿、リチャード・ジェッケル、ルチアナ・バルツィ、バッド・ウイダム、ウイリアム・ロス、テッド・ガンサー

B-4 5/7(木)3:00pm 5/19(火)7:00pm
ガメラ対大悪獣ギロン
(82分・35mm・カラー)
シリーズ第5作。冒険好きの少年たちが宇宙船で連れ去られ、救出に向かったガメラが宇宙人たちの操る用心棒怪獣ギロンと戦う。人気の怪獣ギャオスも再登場。
'69(大映)◎湯浅憲明◎高橋二三◎喜多崎見◎井上章◎菊池俊輔[特殊技術]◎藤井和文(美)◎矢野友久(特撮合成)◎金子三◎加島信博、秋山みゆき、クリスファ・マーフィー、浜田ゆう子、イデス・ハンソン、笠原玲子、甲斐弘子、船越英二、大村崑

B-5 5/6(水)祝4:00pm 5/21(木)3:00pm
緯度0大作戦(89分・35mm・カラー)
海図にない海底のユートピア「緯度0」を守る潜水艦アルファ号と、世界征服をたくむ科学者の黒鯨号の戦いを描くSF活劇。『第三の男』のジョセフ・コットンや『80日間世界一周』のシーザー・ロメロなど豪華なゲスト・スターの出演も話題を呼んだ。
'69(東宝)◎本多猪四郎[特殊監督]◎円谷英二◎関沢新一、テッド・シャードマン◎完倉泰一◎北猛夫◎伊福部昭[特殊撮影]◎富岡素敬、真野田陽一[光学撮影]◎徳政義行◎井上泰幸(合成)◎向山弘三◎宝田明、ジョセフ・コットン、シーザー・ロメロ、岡田真澄、中山麻理、平田昭彦、中村哲、大前鈞

B-6 5/8(金)3:00pm 5/21(木)7:00pm
ゴジラ ミニラ ガバラ オール怪獣大進撃
(69分・35mm・カラー)
孤独な少年が夢の中の怪獣島でミニラと出会い、ともに成長する。新怪獣ガバラのほか、過去のシリーズから抜粋されたフッターの使用で怪獣たちが次々と登場。本作以降、怪獣映画は「東宝チャンピオンまつり」に組み込まれて公開されるようになる。
'69(東宝)◎本多猪四郎◎関沢新一◎富岡素敬◎北猛夫◎宮内国郎[特殊監督]◎円谷英二(合成)◎向山弘三◎佐原健二、中真千子、矢崎知紀、天本英世、堺左千夫、鈴木和夫

B-7 5/7(木)7:00pm 5/20(水)3:00pm
ガメラ対大魔獣ジャイガー
(83分・35mm・カラー)
シリーズ第6作。南太平洋のウェスター島で甦った大魔獣ジャイガーが日本に上陸。大阪万国博覧会の会場を舞台にガメラと死闘を繰り広げる。
'70(大映)◎湯浅憲明◎高橋二三◎喜多崎見◎山口照◎菊池俊輔[特殊技術]◎金子三◎矢野友久(合成)◎藤井和文◎高桑勉、ケリー・パリス、キャサリン・マーフィ、炎三四郎、平泉征、八代順子、大村崑、夏木章、北城寿太郎

B-8 5/8(金)7:00pm 5/16(土)1:00pm
ゴジラ ガニメ カメバ 決戦 南海の大怪獣
(84分・35mm・カラー)
南海のセルジオ島でイカ、カニ、カメに寄生して巨大化した宇宙生物が暴れ回る。本作公開前の1970年1月に円谷英二が他界。日本の特撮映画も時代の節目を迎えることとなった。
'70(東宝)◎本多猪四郎◎小川英◎完倉泰一◎北猛夫◎伊福部昭[特殊技術]◎有川貞昌◎真野田陽一[光学撮影]◎徳政義行◎井上泰幸(合成)◎向山弘三◎久保明、高橋厚子、小林夕岐子、佐原健二、土屋嘉男、中村哲、藤木悠、斉藤宜文、杉原優子

B-9 5/12(水)3:00pm 5/20(水)7:00pm
ガメラ対深海怪獣ジグラ
(88分・35mm・カラー)
地球侵略を企むジグラ星の海中生物ジグラとガメラが対決する。大映が倒産する1971年までに7作が公開された「ガメラ」シリーズの最終作。
'71(大映)◎湯浅憲明◎高橋二三◎上原明◎矢野友久◎菊池俊輔[特殊技術]◎藤井和文(合成)◎金子三◎石塚肇隆◎坂上忠志、グロリア・ゾーナ、八並映子、佐伯勇、坪内ミキ子、藤山浩二、アーリン・ゾーナ、笠原玲子

B-10 5/9(土)1:00pm 5/19(火)3:00pm
ゴジラ対ヘドラ(85分・35mm・カラー)
当時社会問題となっていた公害問題をテーマに、汚染された海から生まれた怪獣ヘドラとゴジラの死闘を描いた異色作。円谷英二、有川貞昌の跡を継いで中野昭慶が特殊技術を担当。ゴジラが放射能を吐いて空を飛ぶシーンも話題を呼んだ。
'71(東宝)◎坂野義光◎馬淵薫◎真野田陽一◎井上泰幸◎真鍋理一郎[特殊技術]◎中野昭慶[光学撮影]◎徳政義行◎土井三郎◎山内明、木村俊恵、川瀬裕之、柴本俊夫、麻里圭子、吉田義夫

B-11 5/9(土)4:00pm 5/26(火)7:00pm
地球攻撃命令 ゴジラ対ガイガン
(89分・35mm・カラー)
地球征服を企む宇宙人に操られた新怪獣ガイガンとキングゴジラを、怪獣島のゴジラとアンギラスが迎え撃つ。漫画の吹き出しのように表現される会話などで、怪獣の擬人化がますます進んでいる。
'72(東宝)◎福田純◎関沢新一◎長谷川清◎本多好文◎伊福部昭[特殊技術]◎中野昭慶[特殊技術]◎富岡素敬[光学撮影]◎徳政義行(合成)◎土井三郎◎石川博、高島稔、梅田智子、村井国夫、菱見百合子

B-12 5/10(日)1:00pm 5/22(金)7:00pm
怪獣大奮戦 ダイゴロウ対ゴリアス
(85分・35mm・カラー)
円谷プロが創立10周年を記念して製作した初の劇場映画作品。人なつこいが大食いのため人々からうとまれている怪獣のダイゴロウが、宇宙から襲撃した凶暴な怪獣ゴリアスと戦い、名誉挽回する。喜劇タッチの怪獣映画。
'72(円谷プロ)◎飯島敏宏◎千葉北男◎稲垣通三◎池谷仙克◎冬木透[特殊技術]◎大木淳、中野稔◎犬塚弘、三波伸介、三角八朗、矢崎友紀、瞳麗子、浜村純、天地総子、小松政夫

B-13 5/12(水)7:00pm 5/27(水)3:00pm
ゴジラ対メガロ(82分・35mm・カラー)
海底王国のシートピア人が守護神メガロとガイガンを地上に送り攻撃を開始。ゴジラと巨大化したロボットのジェット・ジャガーが迎え撃つ。ジェット・ジャガーは、新怪獣デザイン募集に入選した小学生の作品。
'73(東宝)◎福田純◎関沢新一◎逢沢謙◎本多好文◎真鍋理一郎[特殊技術]◎中野昭慶[特殊技術]◎富岡素敬◎青木利郎[光学撮影]◎宮西武史(合成)◎三瓶一信◎佐々木勝彦、川瀬裕之、林ゆたか、ロバート・ダンファム、富田浩太郎

B-14 5/10(日)4:00pm 5/26(火)3:00pm
狼の紋章(78分・35mm・カラー)
SF作家・平井和正による人気シリーズ小説の映画化。暴力団幹部の息子(松田優作)が牛耳る博徳学園に転校してきた一人の青年(志垣太郎)。孤独の影をよどした彼の周囲に次々と怪奇な事件が起こる。
'73(東宝)◎松本正志◎平井和正◎石森史郎、福田純◎上田正治◎竹中和雄◎真鍋理一郎◎志垣太郎、安芸晶子、松田優作、黒沢年男、伊藤敏孝、加藤小代子、今西正男、水城蘭子

B-15 5/13(水)3:00pm 5/24(日)4:00pm
日本沈没(143分・35mm・カラー)
地殻変動による日本列島沈没と全国民の海外脱出計画を描いた小松左京のベストセラー小説を映画化。特技監督の中野昭慶など円谷時代後期の技術陣が集結して大スケールのスペクタクルに挑み、配給収入も20億円を超える記録的な大ヒットとなった。
'73(東宝)◎森谷司郎◎小松左京◎橋本忍◎村井博、木村大作◎村木与四郎◎佐藤勝[特殊監督]◎中野昭慶[特殊技術]◎富岡素敬[光学撮影]◎宮西武史◎井上泰幸(合成)◎三瓶一信◎小林桂樹、丹波哲郎、藤原弘、いしだあゆみ、二谷英明、島田正吾、夏八木勲、神山繁、村井国夫、地井武男

B-16 5/13(水)7:00pm 5/23(土)1:00pm
ゴジラ対メカゴジラ(84分・35mm・カラー)
ゴジラ誕生20周年記念作品。ブラック・ホール第三惑星人が造り上げたロボット怪獣メカゴジラに、ゴジラそして眠りから覚めた沖繩の怪獣キングシーサーが挑む。メカゴジラの人気はいまも根強く1993年に『ゴジラVSメカゴジラ』、2002年には『ゴジラ×メカゴジラ』が公開されている。
'74(東宝)◎福田純◎関沢新一、福島正実◎山浦弘靖◎逢沢謙◎薩谷和夫◎佐藤勝[特殊監督]◎中野昭慶[特殊技術]◎富岡素敬、山本武◎青木利郎、小村完(合成)◎三瓶一信[光学撮影]◎宮西武史◎大門正明、青山一也、田島令子、ベルベラー・リン、松下ひろみ、平田昭彦、小泉博、岸田森、佐原健二、草野大悟

B-17 5/14(木)3:00pm 5/16(土)4:00pm

エスパイ(94分・35mm・カラー)

『日本沈没』の大成功を受けて、再び東宝が小松左京の小説を映画化。超能力者たちによって組織された国際秘密機構「エスパイ」と怪人ウルロフが率いる敵組織の死闘を描くSFアクション映画。

74(東宝)◎福田純(協力監督)大森健次郎(特技監督)中野昭慶◎小松左京◎小川英◎上田正治◎村木忍◎平尾昌晃、京建輔[特殊技術]◎富岡素敬(光学撮影)宮西武史(合成)三瓶一信◎藤岡弘、由美かおる、草刈正雄、加山雄三、若山富三郎、岡田英次、山谷初男、スチーブ・グリーン、ジミー・ショウ

B-18 5/14(木)7:00pm 5/23(土)4:00pm

メカゴジラの逆襲(83分・35mm・カラー)

『ゴジラ対メカゴジラ』のヒットを受けて製作された続篇。ドリルミサイルなどの新兵器を装備して甦ったメカゴジラが新怪獣チタノザウルスを引き連れて逆襲。本作を最後に東宝の怪獣映画路線は一時休止を迎える。

75(東宝)◎本多猪四郎◎高山由起子◎富岡素敬◎本多好文◎伊福部昭(特技監督)中野昭慶[特殊技術(光学撮影)]真野田嘉一◎青木利郎、小村完(合成)三瓶一信◎平田昭彦、藍とも子、内田勝正、佐々木勝彦、麻里とも恵、大門正明

B-19 5/15(金)3:00pm 5/17(日)4:00pm

恐竜・怪鳥の伝説(92分・35mm・カラー)

富士の西湖周辺に恐竜プレシオザウルスと怪鳥ランホリンクスが出現し暴れ回る。『ジョーズ』などの動物パニック映画ブームを背景に東映が巨額の製作費を投じて取り組んだ大作。

77(東映)◎倉田準二◎伊上勝、松本功、大津一郎◎塩見作治◎雨森義允◎八木正生◎渡瀬恒彦、沢野火子、牧冬吉、清島智子、林彰太郎

B-20 5/15(金)7:00pm 5/24(日)1:00pm

惑星大戦争(91分・35mm・カラー)

『スター・ウォーズ』『未知との遭遇』の世界的なブームを受けて製作された宇宙SF映画の一つ。地球征服にやってきた宇宙軍艦「大魔艦」と国連宇宙局の防衛艦「轟天」が戦争を繰り広げる。「ゴジラ」シリーズの福田純が監督した最後の劇映画となった。

77(東宝)◎福田純◎神宮寺八郎◎中西隆三、永原秀一◎逢沢謙◎薩谷和夫◎津島利章(特技監督)中野昭慶[特殊技術]◎山本武(光学撮影)宮西武史◎井上泰幸(合成)三瓶一信◎森田健作、浅野ゆう子、沖雅也、池部良、大滝秀治、ウリアム・ロス、平田昭彦

B-21 5/17(日)1:00pm 5/28(木)7:00pm

宇宙からのメッセージ

(105分・35mm・カラー)

東映が15億円を投じて製作したSF大作。「里見八犬伝」を下敷きに、8人の勇者とガバナス軍の壮絶な宇宙戦が描かれる。ミニチュアセットを自在に駆けまわるシューケルカメラなど新技術を導入した迫力ある映像が見もの。

78(東映=東北新社=東映太秦映画村)◎◎深作欣二◎石森章太郎、野田昌宏◎◎松田寛夫◎中島徹◎三上陸男◎森岡賢一郎(特撮監督)矢島信男◎ビック・モロー、志穂美悦子、千葉真一、フィリップ・カズフ、ベギー・リー・ブレナン、真田広之、丹波哲郎、成田三樹夫、佐藤允、岡部正純、清水イサム、天本英世

小ホール(地下1階)

日本・ブルガリア外交関係再開50周年記念
ブルガリア映画特集

50 Years of Reestablishment of Diplomatic Relations
between Bulgaria and Japan

Bulgarian Film Week

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター
ブルガリア共和国大使館

4月29日(金)～5月8日(金)

●詳細は当該チラシをご覧ください。

日本・ブルガリア外交関係再開50周年を記念して、1972年の『炎のマリア』から日本初公開となる近年の作品までブルガリアの長篇、短篇映画十数本を紹介します。



ゲオルギと蝶々(2004年)

展示室(7階)

[企画展]

映画資料でみる
映画の中の日本文学 Part 2

Japanese Literature in Film Part 2

— From the NFC Non-film Collection

4月3日(金)～6月18日(金)

フィルムセンターが所蔵する映画ポスター、スチル写真や脚本などを通して、映画がいかに日本のさまざまな文学作品を糧に生み出されてきたかをたどります。このシリーズ第2回では、昭和のはじめから終戦期までに主に活躍した作家の原作による映画作品に焦点を当てます。

岸田國士 『暖流』
(1939年、吉村公三郎監督)
ポスター



[常設展]

企画展に併設

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

*月曜日は休室
開室時間=午前11時～午後6時30分
(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。
* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。



ゴジラ対ヘドラ



恐竜・怪鳥の伝説

発掘された映画たち2009
Cinema: Lost and Found 2009

月	火	水	木	金	土	日
4月	20 A-4 CIE映画選集1 3:00pm (計91分)	A-5 CIE映画選集2 3:00pm (計102分)	A-7 パン・コレクション1 3:00pm (計95分)	A-9 新大都映画 3:00pm (計79分)	A-2 マキノ映画とマキノ眞三 1:00pm (計98分)	A-11 戦前・戦中劇映画の復元 1:00pm (計68分)
	A-1 羅生門 7:00pm (88分)	A-6 CIE映画選集3 7:00pm (計113分)	A-8 パン・コレクション2 7:00pm (計110分)	A-10 戦前・戦中文化記録映画の復元 7:00pm (計56分)	A-3 ママの新婚旅行 4:00pm (94分)	A-12 南湖院コレクション 4:00pm (計92分)
5月	27 A-11 戦前・戦中劇映画の復元 3:00pm (計68分)	A-9 新大都映画 1:00pm (計79分)	A-6 CIE映画選集3 3:00pm (計113分)	A-12 南湖院コレクション 3:00pm (計92分)	A-4 CIE映画選集1 1:00pm (計91分)	A-8 パン・コレクション2 1:00pm (計110分)
	A-5 CIE映画選集2 7:00pm (計102分)	A-1 羅生門 4:00pm (88分)	A-3 ママの新婚旅行 7:00pm (94分)	A-2 マキノ映画とマキノ眞三 7:00pm (計98分)	A-7 パン・コレクション1 4:00pm (計95分)	A-10 戦前・戦中文化記録映画の復元 4:00pm (計56分)

■一部プログラムで、映画上映前に研究員による10分程度の解説を予定しています。日時などの詳細は後日ホームページやメールマガジンにてお知らせします。

日本映画史横断④ 怪獣・SF映画特集 Part 2
Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 4] Monster and Science Fiction Film II

月	火	水	木	金	土	日	
4月	B-1 吸血鬼ゴケミドロ 1:00pm (84分)	B-3 ガンマー第3号 宇宙大作戦 1:00pm (77分)	B-4 ガメラ対大悪獣ギロン 3:00pm (82分)	B-6 ゴジラ ミノラ ガバラ オール怪獣大進撃 3:00pm (69分)	B-10 ゴジラ対ヘドラ 1:00pm (85分)	B-12 怪獣大奮戦 ダイゴロウ対ゴリアス 1:00pm (85分)	
	B-2 昆虫大戦争 4:00pm (84分)	B-5 緯度0大作戦 4:00pm (89分)	B-7 ガメラ対大魔獣ジャイガー 7:00pm (83分)	B-8 ゲゾラ ガニメ カメーバ 決戦 南海の大怪獣 7:00pm (84分)	B-11 地球攻撃命令 ゴジラ対ガイガン 4:00pm (89分)	B-14 狼の紋章 4:00pm (78分)	
5月	B-9 ガメラ対深海怪獣ジグラ 3:00pm (88分)	B-15 日本沈没 3:00pm (143分)	B-17 エスパイ 3:00pm (94分)	B-19 恐竜・怪鳥の伝説 3:00pm (92分)	B-8 ゲゾラ ガニメ カメーバ 決戦 南海の大怪獣 1:00pm (84分)	B-21 宇宙からのメッセージ 1:00pm (105分)	
	B-13 ゴジラ対メガロ 7:00pm (82分)	B-16 ゴジラ対メカゴジラ 7:00pm (84分)	B-18 メカゴジラの逆襲 7:00pm (83分)	B-20 惑星大戦争 7:00pm (91分)	B-17 エスパイ 4:00pm (94分)	B-19 恐竜・怪鳥の伝説 4:00pm (92分)	
5月	B-10 ゴジラ対ヘドラ 3:00pm (85分)	B-7 ガメラ対大魔獣ジャイガー 3:00pm (83分)	B-5 緯度0大作戦 3:00pm (89分)	B-2 昆虫大戦争 3:00pm (84分)	B-16 ゴジラ対メカゴジラ 1:00pm (84分)	B-20 惑星大戦争 1:00pm (91分)	
	B-4 ガメラ対大悪獣ギロン 7:00pm (82分)	B-9 ガメラ対深海怪獣ジグラ 7:00pm (88分)	B-6 ゴジラ ミノラ ガバラ オール怪獣大進撃 7:00pm (69分)	B-12 怪獣大奮戦 ダイゴロウ対ゴリアス 7:00pm (85分)	B-18 メカゴジラの逆襲 4:00pm (83分)	B-15 日本沈没 4:00pm (143分)	
5月	B-14 狼の紋章 3:00pm (78分)	B-13 ゴジラ対メガロ 3:00pm (82分)	B-3 ガンマー第3号 宇宙大作戦 3:00pm (77分)	EUフィルムデーズ2009 5月29日(金)ー6月20日(土)			31
	B-11 地球攻撃命令 ゴジラ対ガイガン 7:00pm (89分)	B-1 吸血鬼ゴケミドロ 7:00pm (84分)	B-21 宇宙からのメッセージ 7:00pm (105分)				

図書室カレンダー

赤字は休室日

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

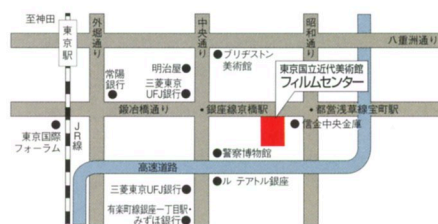
図書室(4階)

開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車。出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車。出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車。出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

